

学 科・コ ー ス	修 業 年 限	主 要 資 格 (試 験)	学 習 概 要
I T エ ン ジ ニ ア 学 科	高 卒 以 上 2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ I T パ ス ポ ー ト 試 験 ・ 基 本 情 報 技 術 者 試 験 ・ W e b ク リ エ イ タ ー 能 力 認 定 試 験 ・ J a v a プ ロ グ ラ ミ ン グ 能 力 認 定 試 験 ・ W e b デ ザ イ ナ ー 検 定 試 験 	<p>I T エ ン ジ ニ ア 学 科 は、 I C T 分 野 を 基 盤 と し た エ ン ジ ニ ア 育 成 学 科 で す。 日 々 変 化 す る I C T 分 野 に お い て、 基 本 的 な 知 識 を 習 得 し、 今 注 目 さ れ て い る D X 人 材 と し て も 活 躍 で き る 教 育 を 行 っ て い ま す。 コ ン プ ュ ー タ の 操 作 ス キ ル か ら、 プ ロ グ ラ ミ ン グ の 基 礎、 W e b、 シ ス テ ム 構 築 を 中 心 に 学 び、 さ ら に、 A I 技 術 の 利 活 用 や、 V R ・ A R な ど 新 し い 表 現 手 法 に も 挑 戦 で き る エ ン ジ ニ ア を 育 て て い ま す。</p>
放 送 映 像 学 科	高 卒 以 上 2 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 映 像 音 響 処 理 技 術 者 資 格 認 定 試 験 	<p>放 送 映 像 学 科 は テ レ ビ 番 組 に 必 要 な 技 術 職 を 育 成 す る 学 科 で す。 1 年 次 は 希 望 職 種 に 関 わ ら ず、 全 て の 学 生 が 番 組 制 作 の 基 礎 と な る ス タ ジ オ 技 術 (カ メ ラ ・ 音 声 ・ 照 明 な ど) と 編 集 を 実 習 中 心 に 広 く 学 び ま す。 こ の ほ か 技 術 基 礎 や 番 組 企 画、 演 出 に つ い て も 学 び ま す。 ま た、 映 画 や テ レ ビ 番 組 の 制 作 現 場 を 中 心 と し た イ ン タ ー ン シ ッ プ も 授 業 と し て 行 っ て い ま す。</p> <p>2 年 次 に な る と 就 職 に 向 け て 各 自 の 希 望 職 種 ご と に 役 割 を 分 担 し、 制 作 実 習 授 業 を 行 っ て い ま す。</p>
T V デ ィ レ ク タ ー 学 科	高 卒 以 上 2 年		<p>T V デ ィ レ ク タ ー 学 科 は、 テ レ ビ 番 組 を 制 作 す る プ ロ デ ュ ー サ ー や デ ィ レ ク タ ー を 養 成 す る た め の 学 科 で す。 日 本 テ レ ビ の 現 役 プ ロ デ ュ ー サ ー や デ ィ レ ク タ ー を は じ め、 制 作 現 場 を 経 験 し て き た 各 分 野 の 専 門 家 を 講 師 に 招 き、 企 画 ・ 制 作 ・ 美 術 ・ 撮 影 技 術 ・ 編 集 な ど の 知 識 や、 著 作 権 ・ コ ン プ ラ イ ア ン ス を は じ め と す る マ ネ ジ メ ン ト の 知 識 な ど、 テ レ ビ に 関 わ る 幅 広 い 実 践 的 な 能 力 の 育 成 を 行 い、 即 戦 力 と し て 活 躍 で き る テ レ ビ マ ン を 養 成 し て い ま す。</p> <p>ま た、 日 本 テ レ ビ の 人 気 番 組 で 番 組 を 制 作 す る 制 作 会 社 の ス タ ッ プ の 一 員 と し て、 お よ そ 2 週 間 か ら 1 か 月 の イ ン タ ー ン シ ッ プ (制 作 現 場 就 業 体 験) も 行 っ て い ま す。</p>
電 気 電 子 学 科	高 卒 以 上 2 年	<p>【在 学 中 の 合 格 者 が い る 主 な 資 格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 一 種 電 気 工 事 士 ・ 第 二 種 電 気 工 事 士 ・ 2 級 電 気 工 事 施 工 管 理 技 士 補 <p>【卒 業 後、 実 務 経 験 の 積 み 重 ね で 取 得 可 能 な 資 格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 二 種 ・ 第 三 種 電 気 主 任 技 術 者 (所 定 の 実 務 経 験 後 に 取 得 申 請) <p>【卒 業 後、 試 験 の 一 部 が 免 除 に な る 資 格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 二 種 電 気 工 事 士 (筆 記 試 験 免 除) ・ 工 事 担 任 者 (全 種 類 の 基 礎 科 目 免 除) <p>【卒 業 後、 所 定 の 実 務 経 験 が 短 縮 さ れ る 資 格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 級 ・ 2 級 電 気 工 事 施 工 管 理 技 士 (所 定 の 実 務 経 験 後 に 受 検) ・ 1 級 ・ 2 級 電 気 通 信 工 事 施 工 管 理 技 士 (同 上) 	<p>電 気 ・ 電 子 工 学 系 の 理 論 と、 受 変 電 設 備 の 保 安 管 理 技 術 者 や、 電 気 設 備 の 工 事 に 必 要 な 専 門 技 術 を 学 習 し て い ま す。</p> <p>電 気 主 任 技 術 者 認 定 校 指 定 カ リ キ ュ ラ ム に 対 応 し た 教 科 を 中 心 に、 電 気 工 事 実 習 を 含 め た 教 育 を 行 っ て い ま す。 特 に 電 気 工 事 実 習 や 第 一 種 電 気 工 事 士 受 験 対 策 指 導 は、 卒 業 生 や 就 職 先 の 新 入 社 員 研 修 担 当 者 か ら、 大 変 役 に 立 っ て い る と 評 価 を 頂 い て い ま す。</p> <p>ま た、 工 事 担 任 者 試 験 認 定 学 校 と し て デ ー タ 通 信 や、 コ ン プ ュ ー タ 技 術 の 基 礎 で あ る デ ジ タ ル 回 路 に つ い て も 学 習 を し て い ま す。</p> <p>1970 年 の 開 校 か ら 半 世 紀 以 上、 多 く の 電 気 技 術 者 を 育 て て き た 本 学 科 の 卒 業 生 は、 多 く の 企 業 様 か ら 評 価 を 頂 い て い る と 共 に、 在 学 生 の 実 習 で も 企 業 連 携 を 行 い 指 導 に あ た っ て 頂 い て い ま す。</p>
建 築 学 科 (昼 間) 建 築 科 (夜 間)	高 卒 以 上 2 年	<p>【卒 業 と 同 時 に 受 験 資 格 が 認 め ら れ る 免 許 ・ 資 格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 二 級 建 築 士 ・ 一 級 建 築 士 (卒 業 後、 4 年 以 上 の 実 務 経 験 を も っ て 免 許 取 得) ・ 木 造 建 築 士 <p>【卒 業 後 の 実 務 経 験 が 必 要 な 免 許 ・ 資 格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 級 建 築 施 工 管 理 技 士 (卒 業 後 5 年 以 上 の 実 務 経 験 が 必 要) ・ 2 級 建 築 施 工 管 理 技 士 (卒 業 後 2 年 以 上 の 実 務 経 験 が 必 要) ・ 建 築 設 備 士 (卒 業 後 4 年 以 上 の 実 務 経 験 が 必 要) ・ イ ン テ リ ア プ ラ ン ナ ー (卒 業 後 2 年 以 上 の 実 務 経 験 が 必 要) <p>【在 学 中 に 取 得 可 能 な 免 許 ・ 資 格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福 祉 住 環 境 コ ー デ ィ ナ ー ・ イ ン テ リ ア コ ー デ ィ ナ ー ・ 商 業 施 設 士 補 ・ 建 築 積 算 士 補 	<p>建 築 業 界 の 仕 事 は 多 岐 に 渡 り、 そ こ で 働 く 人 材 と し て 必 要 な の は、 専 門 分 野 を ベ ー ス に し た 幅 広 い 知 識 と、 そ れ を 実 務 で 使 える 能 力 で す。 設 計 か ら 施 工 ま で、 多 分 野 と の 協 働 に よ り 達 成 す る 業 務 が 多 い こ と か ら、 本 学 科 で は 「基 礎 知 識 の 定 着」 お よ び 「多 分 野 と の 知 識 の ひ も 付」 を そ れ ぞ れ が 訓 練 し、 習 得 す る こ と を 目 指 し て い ま す。</p> <p>1 年 次 は 建 築 の 基 礎 を 学 び、 そ の 上 で 2 年 次 は よ り 専 門 的 な 実 習 を 行 っ て い ま す。 建 築 設 計 製 図 な ど の 実 習 を 主 と し、 そ の 他 関 連 分 野 の 実 習 も 充 実 さ せ て い ま す。 担 当 講 師 に は そ れ ぞ れ の 分 野 の 実 務 家 を 起 用 し、 実 務 レ ベ ル の 知 識 の 習 得 を 目 指 し て い ま す。 ま た 協 力 企 業 と 連 携 し、 現 場 見 学 会 社 や 専 門 施 設 の 見 学 等 を 行 い、 将 来 の 進 路 を 想 起 さ せ る 機 会 を 多 く 提 供 し て い ま す。</p>
臨 床 工 学 科	高 卒 以 上 3 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 臨 床 工 学 技 士 ・ 第 1 種 M E 技 術 実 力 検 定 ・ 第 2 種 M E 技 術 実 力 検 定 <p>【臨 床 工 学 技 士 取 得 後】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 透 析 技 術 認 定 士 ・ 体 外 循 環 技 術 認 定 士 ・ 呼 吸 療 法 認 定 士 ・ 臨 床 高 気 圧 酸 素 治 療 技 師 ・ 臨 床 M E 専 門 認 定 士 	<p>臨 床 工 学 科 は、 最 先 端 医 療 を 支 える 生 命 維 持 管 理 装 置、 人 工 呼 吸 器、 血 液 浄 化 装 置、 人 工 心 肺 装 置 な ど 高 度 な 医 療 機 器 を 専 門 に 取 り 扱 う 国 家 資 格 で あ る 臨 床 工 学 技 士 を 養 成 し ま す。</p> <p>そ の た め に 一 人 一 人 の 学 習 状 況 を つ ね に 把 握 し、 必 要 に 応 じ た 補 習、 補 講 を 実 施 し て 最 終 目 標 と し て 国 家 資 格 取 得 ま で 徹 底 し た フ ォ ロ ー を 行 っ て い ま す。</p> <p>ま た、 臨 床 工 学 技 士 を 目 指 す 教 育 だ け で な く、 多 種 多 様 な 高 度 医 療 機 器 を 総 合 的 に 管 理 で き る 知 識 を 持 つ エ ン ジ ニ ア、 さ ら に 研 究 心 と 向 上 心 を 持 っ た 指 導 的 な 医 療 技 術 者 と し て の 素 養 を 培 う 教 育 に も 留 意 す る こ と で、 チ ー ム 医 療 に 従 事 す る 一 員 と し て 各 種 医 療 機 器 の 専 門 知 識 は も ち ろ ん 患 者 さ ん が 安 心 し て 生 命 を 預 け う る、 信 頼 さ れ る 人 間 性 を 養 う 教 育 を 行 っ て い ま す。</p>
介 護 福 祉 学 科	高 卒 以 上 2 年	<p>【卒 業 と 同 時 に 資 格 登 録 が 認 め ら れ る 資 格 (2026 年 度 ま で)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介 護 福 祉 士 <p>【在 学 中 に 取 得 可 能 な 資 格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福 祉 住 環 境 コ ー デ ィ ナ ー 検 定 試 験 2 級 ・ 介 護 事 務 管 理 士 	<p>介 護 福 祉 学 科 で は、 介 護 福 祉 に お け る 優 れ た 専 門 的 技 能 を 身 に つ け る と 共 に、 介 護 を 必 要 と す る 多 様 な 人 々 に と っ て 心 の 拠 り 所 と な り 得 る 人 材 を 養 成 し ま す。 そ し て、 卒 業 年 度 に 介 護 福 祉 士 国 家 資 格 取 得 の た め の 受 験 資 格 を 得 る こ と が で き ま す。</p> <p>『社 会 人 と し て 通 用 す る 基 礎 的 学 力 の 向 上』、 『介 護 福 祉 士 と し て 基 礎 と な る 知 識 ・ 技 術 の 徹 底 し た 習 得』、 『専 門 職 と し て の 高 い 倫 理 観 と 根 拠 に 基 づ い た 専 門 性 の 発 揮』、 『社 会 を 包 括 的 に 捉 え る 広 い 視 野 と 個 々 の 使 命 の 自 覚』、 『1 0 0 % の 資 格 取 得 ・ 1 0 0 % の 就 職』 と い っ た 目 標 を 掲 げ、 学 生 の 自 主 性 を 育 み な が ら、 一 人 一 人 に 適 し た 丁 寧 で き め 細 かな 教 育 を 行 っ て い ま す。</p> <p>授 業 は、 経 験 豊 富 で 面 倒 見 の 良 い 専 任 教 員 を は じ め、 様 々 な 分 野 の 現 場 で 活 躍 中 の 専 門 性 豊 かな 講 師 陣 が 担 当 し て い ま す。 体 験 型 の 校 外 学 習 な ど も 積 極 的 に 取 り 入 れ て い ま す。</p> <p>ま た、 介 護 実 習 は、 最 大 8 ヶ 所 に わ た る 多 様 な 介 護 現 場 で 実 施 し て い ま す。 実 習 の 多 さ は 介 護 の 実 践 力 や 対 応 力 を 確 実 に 養 う こ と が で き、 就 職 先 の 選 定 に も 大 変 役 立 っ て い る と、 在 校 生 や 卒 業 生 か ら も 好 評 で す。</p>